

講義・演習概要（シラバス）

第 1 部課程第 1 2 1 期（平成 25 年 10 月 24 日～平成 26 年 3 月 18 日）

課 目 名	社会保障改革の動向と課題
時 限 数	1 時限・2 時限
担 当 講 師	氏名 宮本太郎 （中央大学法学部教授） ＜プロフィール＞ 1988 年 中央大学法学研究科博士課程単位取得退学 博士（政治学） 立命館大学教授、北海道大学教授を経て 2013 年より現職 総務省顧問、内閣府参与、成長戦略実現会議委員、安心社会実現会議委員、社会保障制度改革国民会議委員など歴任。現在、社会保障審議会委員、中央教育審議会臨時委員など。
ね ら い	日本のこれまでの生活保障の仕組みがなぜ機能不全に陥ったかを考え、今日の社会保障改革の課題を明らかにする。とくに、国の現金給付（年金）中心の社会保障から自治体のサービス給付中心の社会保障への転換が不可避であること、そのサービスのあり方も、保護を目的とした「殻の保障」から、自立を支援する「翼の保障」に転換していかなければならないことを示す。
講 義 概 要	* これまでの日本の生活保障はいかなる特徴があったか * 1995 年転換 これまでの仕組みはなぜ、どのように機能不全に陥ったか 雇用、家族、世代などでいかなる事態が進行しているか * こうした事態に対処する社会保障には何が求められるか 社会保障制度改革国民会議の報告書をどう読むか * 新しい社会保障は支え合いのかたちそのものの転換 殻の保障から翼の保障へ * 社会保障の供給主体が国から自治体へ * 個別政策領域での自治体の課題はどのようなものか 医療・介護連携と地域包括ケアについて 生活困窮者自立支援について * 諸政策をいかに連携させ効率的かつ効果的に執行するか
受講上の注意	個々の論点について受講者の意見を求めることがある 教材の一部でも目を通しておくことが望ましい

使 用 教 材	宮本太郎『生活保障 排除しない社会へ』岩波新書 (別に講義資料を配付する)
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	